

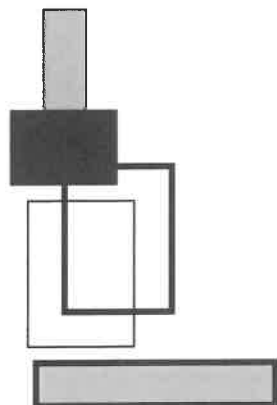


Matsuyama
Business
College

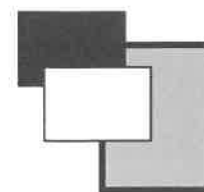


松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科



2023 年度
シラバス



スタイリストコース 2 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 スタイリストコース

必修/ 選択		区分	科目名	種別	担当者	スタイリストコース 2年		
						前期	後期	単位
必修	学科 共通		ファッション業界論Ⅱ	講義	桑原	30		2
			色彩学Ⅲ(全学科共通)	講義	青田	30		2
			ファッション販売理論Ⅲ	講義	地紙	30		2
			ファッション販売実技Ⅲ	実習	越智	30		1
			英会話Ⅰ	講義	南原	30		2
			VMDⅠ	講義	大方	30		2
			デジタル演習Ⅲ(全学科共通)	実習	野田	30		1
			ファッションプロデュースⅠ	実習	桑原	30		1
			色彩学Ⅳ(全学科共通)	講義	青田		30	2
			ファッション販売実技Ⅳ	実習	越智		30	1
			英会話Ⅱ	講義	南原		30	2
			VMDⅡ	講義	大方		30	2
			デジタル演習Ⅳ(全学科共通)	実習	大木		30	1
			ファッションプロデュースⅡ	実習	桑原		30	1
	スタイ リス ト コー ス		スタイリスト演習Ⅲ	実習	桑原	60		2
			スタイリスト商品制作Ⅱ	実習	桑原	60		2
			ヘアメイク実技・理論Ⅲ	実習	高岡	60		2
			スタイリスト演習Ⅳ	実習	桑原		60	2
			スタイリスト商品制作Ⅲ	実習	桑原		60	2
			ヘアメイク実技・理論Ⅳ	実習	高岡		30	1
			卒業研究	実習	桑原		60	2
						420	390	35
必修科目 合計						810		
選択			韓国語	講義	-	30		2
			研修	実習	大木		30	1
選択科目 合計								
年間合計時間/単位数						810		35

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	ファッション業界論Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界を幅広く学び、動向を知る。						
学習到達 目標	ファッション業界の動向を知る。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	グループディスカッション		ファッション				
2			アパレル				
3			EC				
4			人材育成				
5			トレンド				
6			サステナブル				
7			メイク				
8			美容				
9			スタイリスト				
10			ファッションショー				
11～12	企業	企業リサーチ					
13～15		プレゼン・評価会					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート50%、プレゼン50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙			時間割	金曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通にいたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	産業における色彩		産業と色彩				
2	〃		ファッション産業と色彩				
3～4	色彩理論-光、視覚、心理		光と色				
5	〃		色覚のしくみ				
6	〃		色彩と心理				
7	色彩体系-色名とカラーシステム		色名				
8	〃		三属性による色の表示方法				
9	〃		色見本とカラーコード				
10	配色と色彩調和		流行配色				
11	〃		調和の技術				
12	〃		色彩調和論				
13	〃		ファッション イメージとカラーコーディネート				
14	〃		日本の古典的な配色-重ねの色目				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅲ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀		時間割	月曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	的確に、個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。					
学習到達 目標	ファッション販売能力検定2級合格。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション販売技術	お客様に関する知識、コーディネート提案、服飾雑貨の販売技術				
2	〃	クレームの対応、衣類のお手入れ、お直し				
3	〃	外国人客への接客、AIと接客				
4	商品知識	素材の種類と主要アイテム、配色の基本技術				
5	〃	副資材の知識、サイズの知識				
6	売り場づくり	市場の変化とVMD、店舗コンセプトの具現化とVMD				
7	〃	VMD計画の実施、商品陳列の構成方法、VPとPPで展開する演出技法				
8	〃	色彩と照明、商品分類と売り場構成、売り場の編集、業態別VMDの特徴				
9	マーケティング	マーチャンダイジングの知識と実践				
10	〃	リテールマーチャンダイジング、デジタルマーケティング				
11	店舗運営管理	店舗運営管理の基本、店舗係数管理 店舗の人事管理、コンプライアンス				
12～14	練習問題	練習問題解答・解説				
15	修了テスト	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売2: 日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、ノート20%、修了テスト60%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	ファッション販売能力検定2級 2023年7月受験予定		
備考	各自ルーズリーフを準備すること。					

授業科目	ファッション販売実技Ⅲ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ	時間割	水曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	販売員として、トレンドや外部の情報収集を定期的に行い実践に生かす流れを知る。				
学習到達 目標	現場で即戦力となるために基礎知識の習得。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	トレンド調査	トレンド調査、発表			
5	VMDの基礎	おたたみ、マネキン着せ替え			
6～8	販売の基礎	自身の店を疑似的に作成、販売ロープレ			
9～11	3C分析	3C分析について、調査、発表			
12	ディスカッション	ディスカッション			
13～14	企業調査	企業調査、レポート提出			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	ロープレ30%、レポート30%、修了テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	英会話Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	南原 寿枝美 (株式会社サザンフィールド)			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科2年		
授業科目の テーマと目的	コロナ後、再び増えてきた海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様と英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を修得する。						
学習到達 目標	来店した外国人客を迎え、店内案内や、基本的な商品説明ができる力を身に着ける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基本フレーズ	「いらっしゃいませ」から始まる接客に基本フレーズを言うてみる。					
2	役立つ定番フレーズ	「何をお探しですか」など、特によく使う定番フレーズを言うてみる。					
3	売り場案内(1)	「紳士服売り場は3階です」など、店舗で取り扱っている商品の売り場を案内できるようになる。					
4	売り場案内(2)	営業時間、定休日、Wi-Fiについて案内できるようになる。					
5	商品案内(1)	買いたい商品や好みを聞いて商品を見せることができるようになる。					
6	商品案内(2)	別のサイズやほかの色があることを説明できるようになる。					
7	商品案内(3)	「手に取ってみてください」、「鏡でごらんください」など商品をお勧めできるようになる。					
8	商品案内(4)	試着を案内し、「お似合いです」と言えるようになる。					
9	商品案内(5)	他のサイズの案内や、丈詰めなど補正の案内ができるようになる。					
10	商品案内(6)	素材や、手入れ方法を説明できるようになる。					
11	商品案内(7)	生地産地や、日本製かどうかなどの質問に答えられるようになる。					
12	レジでの案内(1)	レジの場所や、列に並んで待たないといけない場合の案内ができるようになる。					
13	レジでの案内(2)	支払い方法を確認する。クレジットカードが使えない場合の説明ができるようになる。					
14	レジでの案内(3)	プレゼント包装や個別包装を頼まれた場合に対応できるようになる。					
15	修了テスト						
使用テキスト 教材・教具	「とにかくひとこと接客英会話 販売編」(旺文社) 「ゼロから話せる接客のひとこと英会話」(KADOKAWA)						
参考図書 参考文献	キクタン接客英会話 販売編 (アルク出版)						
成績評価の 方法・基準	小テスト60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点	ロールプレイングに積極的に参加する。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	VMD I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	木曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	路面店や商業施設の実際のVPやMPを見ながら、実践的に役立つ知識とスキルを学ぶ。						
学習到達 目標	VMDの基礎知識が説明でき、かつ現場で即戦力として活躍できるスキルを身につけている。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ7年 店長3年 バイヤー・マネージャー7年					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション業界の現状		VMDの重要性が高まっていることについて				
2	VMDの歴史		VMD誕生の歴史的背景 2023SSトレンド				
3	VMDの基礎知識①		VMD業務の流れ				
4	VMDの基礎知識②		VP構成テクニックについて				
5	52週MD		4月、5月VMD計画				
6	VMDの実践		東京 原宿を歩きながらVMDのテクニックを探る				
7	VMDの基礎知識④		PP IPの構成テクニックについて①				
8	52週MD		6月VMD計画				
9	VMDの基礎知識⑥		PP IPの構成テクニックについて②				
10	VMDの実践		大阪 心斎橋を歩きながらVMDのテクニックを探る				
11	VMDの基礎知識⑦		7月VMD計画				
12	VMDの実践		名古屋 栄を歩きながらVMDのテクニックを探る				
13	52週MDについて		8月 9月VMD計画				
14	古着ショップの陳列		古着ショップの世界観				
15	総論		前期復習				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献	ファッション販売能力検定2級、3級						
成績評価の 方法・基準	毎週の課題100%で評価する。						
履修上の 留意点	WEB上で課題の出題、提出			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	水曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	就活を中心とした授業内容でポートフォリオや作品集、ブランド企画などをテーマに指導。						
学習到達 目標	自己アピールと作品のプレゼン内容を明確に表現できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ポートフォリオ		ポートフォリオとは				
3～4	〃		ポートフォリオの作成				
5～6	〃		ポートフォリオの作成				
7～8	〃		ポートフォリオの作成				
9～10	商品企画		テーマからデザインを考えマップを制作				
11～12	〃		テーマからデザインを考えマップを制作				
13～14	〃		テーマからデザインを考えマップを制作				
15	修了テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションプロデュースⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	月曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	広告の企画から衣装提案、衣装集め、撮影までの流れを学ぶ。						
学習到達 目標	広告を制作する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、プロデュース法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	概論	広告について、完成までの流れ					
3～4	衣装提案書	衣装提案書の作成方法、衣装リース屋					
5～6		衣装提案書の作成					
7	衣装集め	衣装の集め方					
8～11	広告制作	ペアを組んで与えられたテーマをもとに、衣装提案書作成から衣装決め					
12～15		撮影、編集					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題20%、作品60%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備する。						

授業科目	色彩学Ⅳ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通に いたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。					
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション産業における 色彩計画		ファッション 業界において色彩を取り扱う姿勢			
2	〃		情報としての色彩			
3～4	〃		商品企画における色彩計画			
5	〃		生産段階における色彩			
6	〃		販売における色彩計画			
7	〃		パーソナルコーディネートと色彩			
8～14	検定対策		過去問題集から模擬テスト、解答			
15	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考						

授業科目	ファッション販売実技Ⅳ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	自身の課題に向き合いつつ、販売員として臨機応変に対応できる実力を身につける。				
学習到達 目標	応用問題を柔軟に対応し、現場で即戦力となる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	トレンド調査	トレンド調査、発表			
5	自己分析	自分自身を見つめなおし課題を発見する			
6	目標設定	課題解決の道筋を立て、他者に開示			
7～9	接客	接客に関する予備知識			
10	販売実践	販売ロープレ			
11～13	3C分析	調査、発表			
14	ディスカッション	ディスカッション			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	ロープレ30%、レポート30%、修了テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	英会話Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	南原 寿枝美 (株式会社サザンフィールド)	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科2年
授業科目の テーマと目的	衣類の英語表現や服装に関する表現のほか、接客中によくある質問への対応、海外での買い付けなどにも役立つ英会話を修得する。				
学習到達 目標	外国人の接客中に多い質問に対して英語で対応できる力、海外での購買ができる力を身に付ける。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	衣類の英語表現	ワンピースは英語では dress と表現するなど、日本語の衣類表現と同じもの、違うものを知る。			
2	服装に関する表現(1)	「着心地が良い」、「きつい」、「ダブダブ」など、服の着心地に関する表現を学ぶ。			
3	服装に関する表現(2)	「おしゃれ」、「最新のデザイン」、「派手」、「流行おくれ」など、服の見た目に関する表現を学ぶ。			
4	よくある質問への対応 (1)	お勧めの商品をたずねられて、「こちらはいかがですか」、「これはセール中です」、「これは人気商品です」などの案内ができるようになる。			
5	よくある質問への対応 (2)	値引きはできますかと聞かれ、「残念ながら値引きはできません」、「2つ買えば20%引きになります」などの案内ができるようになる。			
6	よくある質問への対応 (3)	買った商品を、そのまま着て帰りたいと言われた場合に対応できるようになる。			
7	よくある質問への対応 (4)	免税について聞かれた場合に、免税できるかどうかや、免税カウンターを案内できるようになる。			
8	よくある質問への対応 (5)	ホテルや自国への配送ができるか聞かれ、対応できるようになる。			
9	よくある質問への対応 (6)	返品を頼まれた時、「開封後の商品の返品はできません」などの対応ができるようになる。			
10	海外での買い付け(1)	欲しい商品を扱っているかどうか尋ねることができるようになる。			
11	海外での買い付け(2)	生地や縫製国の確認ができるようになる。			
12	海外での買い付け(3)	サイズや色のバリエーションを確認できるようになる。			
13	海外での買い付け(4)	値引き交渉ができるようになる。			
14	海外での買い付け(5)	各国通貨や為替レート、日本への配送について学ぶ。			
15	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	「とにかくひとこと接客英会話 販売編」(旺文社) 「ゼロから話せる接客のひとこと英会話」(KADOKAWA)				
参考図書 参考文献	キクタン接客英会話 販売編 (アルク出版)				
成績評価の 方法・基準	小テスト60%、修了テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点	ロールプレイングに積極的に参加する。	検定試験の 概要			
備考					

授業科目	VMDⅡ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	路面店や商業施設の実際のVPやMPを見ながら、実践的に役立つ知識とスキルを学ぶ。				
学習到達 目標	VMDの基礎知識が説明でき、かつ現場で即戦力として活躍できるスキルを身につけている。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ7年 店長3年 バイヤー・マネージャー7年			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ファッション業界の現状	前期の復習 下半期のビジネストレンド			
2	VMDの実践	東京 銀座を歩きながらVMDのテクニックを探る(変更の場合あり)			
3	52週MD	10月VMD計画			
4	VMDの実践	京都 河原町を歩きながらVMDのテクニックを探る(変更の場合あり)			
5	VMDの実践	名古屋を歩きながらVMDのテクニックを探る(変更の場合あり)			
6	52週MD	11月VMD計画			
7	VMDの実践	東京 丸の内を歩きながらVMDのテクニックを探る(変更の場合あり)			
8	52週MD	12月VMD計画			
9	VMDの実践	兵庫 神戸を歩きながらVMDのテクニックを探る(変更の場合あり)			
10	VMDの実践	名古屋を歩きながらVMDのテクニックを探る(変更の場合あり)			
11	52週MD	1月VMD計画			
12	VMDの実践	東京 下北沢 大阪 アメ村 名古屋 大須を歩きながらVMDのテクニ ックを探る(変更の場合あり)			
13	52週MD	2月VMD計画			
14	展示会の陳列	実際の展示会はどうのように陳列するか			
15	総論	総復習			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献	ファッション販売能力検定2級、3級				
成績評価の 方法・基準	毎週の課題100%で評価する。				
履修上の 留意点	WEB上で課題の出題、提出		検定試験の 概要		
備考					

授業科目	デジタル演習Ⅳ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大木 美代子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	基本操作の応用、オリジナルのコラージュ作成で多様な世界観の表現ができる。				
学習到達 目標	テーマにマッチしたコラージュの作成ができるようになる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ポートフォリオとは	ポートフォリオとは、つくる目的			
2～4	練習課題	テーマに合わせて作成する 基本的な構成を学ぶ			
5～7	テーマ①	オリジナルのテーマ設定			
8	テーマ①	発表			
9～11	テーマ②	オリジナルのテーマ設定			
12	テーマ②	発表			
13～14	テーマ③	オリジナルのテーマ設定			
15	テーマ③	発表			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	作品70%、プレゼンテーション力30%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	ファッションプロデュースⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	役者の人柄、深層心理を紐解きスタイリングする。						
学習到達 目標	映画のポスターを制作し、その過程をルックブックにまとめる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、プロデュース法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論	役者の深層心理と衣装					
2～5	プレゼン	映画の衣装をスタイリングし、プレゼン					
6	映画制作	キャスティング、配役					
7～8		衣装決め					
9～11		ポスター撮影、編集					
12～15		ルックブック制作					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリスト演習Ⅲ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知		時間割	金曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年	
授業科目の テーマと目的	体型カバーコーディネート、デザイナーへのプレゼン法を学ぶ。					
学習到達 目標	現場で通用する知識、技術を習得する。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	概論	骨格について				
2		骨格診断				
3～6	コーデ組み	3つの骨格タイプ別のコーディネート法				
7～8	応用	コーディネート				
9～10	プレゼン	企画テーマに沿ったプレゼン				
11～12		実践				
13～16		松コレに向けて、デザイナーへのプレゼン案作成				
17	着回しコーデ	着回し術について				
18～19		Tシャツ着回しコーデ				
20～21		デニム着回しコーデ				
22～23		1week着回しコーデ				
24～26	韓国ファッション	韓国のトレンド調査				
27～30		バイイング準備				
使用テキスト 教材・教具	骨格診断書×パーソナルカラー 本当に似合うBestアイテム事典:二神弓子:西東社					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題40%、作品40%で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備する。					

授業科目	スタイリスト商品制作Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	木曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	スタイリストとして必要なお直し術、リメイクを学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用するお直し術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、お直し技術やリメイク法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	スタイリストバック講座	スタイリストバックの中身、使用目的					
3～4	お直し技術	撮影現場で主に行うお直し法					
5～15		シチュエーションごとに異なるお直し法を実践する					
16～17	染め	洋服染め、染料について					
18～21		洋服や小物を染める					
22～25	リメイク	リメイク法、刺繍					
26～30		染めたアイテムをリメイクする					
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、染料道具、刺繍道具						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題20%、作品60%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。各自ノートを準備する。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅲ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子	時間割	火曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース2年
授業科目の テーマと目的	作品創りを通して、ファッションとヘアメイクをトータルでイメージし、コーディネートしていけるような技術を身につける。				
学習到達 目標	決められた時間でデザイン画をつくり、イメージに合わせてヘアメイク作品を仕上げる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～16	ヘア・メイク実技	テーマに合わせて作品を仕上げる			
17～20	文化祭ショーヘアメイク	ヘアメイクイメージをデザインし、作品を創り上げる			
21～30	ビューティーコンテストヘアメイク	コンテスト用にヘアメイクイメージ案を創り、練習・撮影までトータルで作品を創り上げる			
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニク25%、スピード25%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	スタイリスト演習Ⅳ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年
授業科目の テーマと目的	研修の振り返りと、実践的な洞察力を学ぶ。				
学習到達 目標	現場で通用する洞察力を習得する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	外国ファッション	韓国ファッションマップ作成			
5～8		外国ファッション文化			
9～12	韓国着回しコーデ	研修で集めたアイテムで着回しコーデ			
13～14	洞察力	ドキュメンタリー鑑賞①			
15～16		ドキュメンタリー鑑賞②			
17～20		現場で起こりうる問題解決策			
21～22		校外授業：観察するポイント・ショップリサーチ			
23～24		校外授業			
25～26		校外授業：レポートにまとめ報告会			
27～28	コーディネート	複数人のセットコーディネート			
29～30		プレゼン			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、作品50%で評価する。				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。		検定試験の 概要		
備考					

授業科目	スタイリスト商品制作Ⅲ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	実践的なリメイク法を習得。						
学習到達 目標	現場で通用するリメイク術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、お直し技術やリメイク法を指導する。				
コマ割							
1～12	リメイク①		既製品に装飾をつける				
13～14			コーディネートする				
15～28	リメイク②		既製品に装飾をつける				
29～30			コーディネートする				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース2年		
授業科目の テーマと目的	作品創りを通して、ファッションとヘアメイクをトータルでイメージし、コーディネートしていけるような技術を身につける。						
学習到達 目標	2年間で学んだ技術を作品として形に残す。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～10	ヘア・メイク実技		より深く追求していけるような作品テーマのヘアメイク練習				
11～15	卒進展用ヘアメイク		ポートフォリオなどに使用できる作品を創る				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	卒業研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創る。						
学習到達 目標	松山コレクションで披露する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2			テーマ決め				
3～10	松コレ・スタイリングショー		スタイリング案、衣装集め、スタイリングブック				
11～24			フィッティング、(お直し、リメイク)				
25～28	松コレ・ファッションショー		フィッティング、(お直し、リメイク)				
29～30	スタイリングブック		まとめ				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。						

授業科目	韓国語			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	—			時間割	—	開講期	不開講
選択/必修	選択	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的							
学習到達 目標							
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☐ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
	令和5年度は開講しない						
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準							
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	研修			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大木 美代子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	ブランド企画で構成した商品のイメージに沿ってバイイングを体験する。						
学習到達 目標	イメージを具体化する、かつ数値の予定と併せた仕入れ業務を行う。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	研修旅行		事前準備				
3～13	研修旅行		韓国 買い付け				
14～15	研修旅行		韓国リサーチ纏め、レポート作成、発表				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	構成力70%、プレゼンテーション30%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							